

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(飲供)起債償還元金	会計名称	飲料水供給施設特別会計		担当課	水道課		
		予算科目	2 款 1 項 1 目	事業番号	8610	所属長名	野島康博	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	飴矢百合		
法令根拠等	地方財政法				実施期間	【開始】	令和 / 平成 18 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	令和	年度(予定)
	潤いのある水環境づくり						☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	元金償還費の適切な予算の執行事務							
事業の対象	地方債借入先			事業の目的	飲料水供給施設事業の安定経営のため、地方債発行の抑制と未償還残高の縮小に努める。			
事業の内容（整備内容）	飲料水供給施設の建設事業で起こした地方債の借入先に対して、元金の償還を行う。			評価事業としないこととした理由	裁量のない事業であるため			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	前 年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
財源内訳	直 接 事 業 費	1,172	1,210	0	0	0	1,210	地方債元金償還金	千円	1172	1210	600	1210
	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	県 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	地 方 債	0	0	0	0	0	0						
	そ の 他	0	0	0	0	0	0						
	一 般 財 源	1,172	1,210	0	0	0	1,210						
職員の人工（にんく）数		0.01	0.04				0.04						
1人工当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費		1,252	1,522				1,522						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		なし							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
						1,250	1,291	1,333	1,377	706	5,957		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	支払明細に基づき、2年度地方債元金償還を行い、未償還残高の縮減に努めた。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	企業債借入に伴う必要経費であるため、事業継続と判断する。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	